

稚内市地域公共交通活性化協議会 平成20年2月26日設置



概 要

稚内市は、公共交通のほとんどを路線バスに依存している地域であるが、平成元年にJR天北線から転換された天北線バスについても利用は低迷しており、効率的な運行や交通空白地域の解消が課題となっている。このため、市内の天北線バスについて、現行路線のコミュニティバスへの転換や、宗谷岬廻りルートへの路線変更による交通空白地域の解消等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)
- ・(株)宗谷バス(市内8路線、郊外7路線、天北6路線)
- ・スクールバス(7本:4校)
- ・猿払村営バス(東浦地区)
- ・稚内空港

○地域公共交通の課題

- ・天北線バス(旧JR天北線の代替)の利用が低迷
- ・東浦地域の高齢者の交通手段がない
- ・宗谷岬から猿払村方面へ向かう観光客の交通手段がない
- ・ノシャップ岬等の観光地へのアクセスが不便

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・天北線沿線地域におけるコミュニティバスの試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・天北線バスの宗谷岬廻りルートへの路線変更の検討
- ・現行の天北線バスのコミュニティバスへ転換の検討
- ・ノシャップ岬、北防波堤ドーム、抜海岬、宗谷丘陵等の観光地へのアクセス改善の検討
- ・ニューズレター発行等の公共交通利用促進策の検討



国土地理院発行20万分の1地勢図より